

ジャーナリズム公開講座

第5期第9回 11月30日(木) 18:30

今井 一

ジャーナリスト



現実性が高まる〈9条改正・国民投票〉 何が主権者に問われるべきか

【講師略歴】1954年大阪市生まれ。関西大学文学部卒（哲学専修）。1981年からポーランドの民主化運動を取材し、89年『CZESC（チェシチ）！—うねるポーランドへ』でノンフィクション朝日ジャーナル大賞受賞。旧ソ連の国民投票を現地で見聞きして衝撃を受け、帰国後、新潟県巻町や沖縄県名護市の住民投票を取材。2006-07年に衆参両院の憲法調査特別委員会で国民投票のルールについて陳述。スイス、フランス、リトアニア、イギリスなどで実施された国民投票の現地取材を重ねる。『国民投票の総て』（編著）、『「解釈改憲=大人の知恵」という欺瞞』『「原発」国民投票』など著書多数。

会場 静岡県男女共同参画センターあざれあ

2階大会議室 静岡市駿河区馬淵1-17-1 静岡駅西徒歩9分
駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

18:30～20:30（18:15開場）

入場無料、申込み順先着80名 どなたでも参加いただけます。

第5期（2017年度）静岡県立大学ジャーナリズム公開講座

- 第1回 4月28日（金）常岡浩介 ジャーナリスト、『イスラム国とは何か』著者
「シリア、ロシア情勢等の報道にみる日本のジャーナリズムのレベル」
- 第2回 5月25日（木）新藤健一 フォトジャーナリスト
「戦争写真とメディア」
- 第3回 6月29日（木）織田邦男 元航空自衛隊空将
「東シナ海の平和を守るため必要なこと——今、東シナ海で何が起きているのか」
- 第4回 7月20日（木）鈴木美穂 毎日新聞記者
「普天間基地移設、日米両政府の本音はどこ？」
- 第5回 8月3日（木）小川和久 軍事アナリスト、静岡県立大学特任教授
「トランプ時代の国際情勢と日本の安全保障——米朝チキンゲームの中間総括」
- 第6回 8月31日（木）川瀬勝 英語通訳者
「国際報道——会議通訳者の視点から」
- 第7回 9月28日（木）李森（リー・ミャオ）フェニックステレビ東京支局長
「中華圏に日本のニュースを伝えるということ」
- 第8回 10月26日（木）佐々木良昭 イスラム圏研究者、経団連ビジティング・アナリスト
「イスラム圏のニュースの見方」
- 第9回 11月30日（木）今井一 ジャーナリスト、国民投票・住民投票の専門家
「現実性が高まる〈9条改正・国民投票〉——何が主権者に問われるべきか」
- 第10回 12月21日（木）楊井人文 弁護士、日本報道検証機構代表理事
会場：ペガサート6階 B-nest プレゼンテーションルーム
- 第11回 1月25日（木）渡瀬裕哉 『トランプの黒幕——日本人が知らない共和党保守派の正体』著者、早稲田大学招聘研究員
- 第12回 2月22日（木）花田紀凱 『月刊 Hanada』編集長、『週刊文春』元編集長
- 第13回 3月29日（木）元木昌彦 『週刊現代』元編集長

（敬称略）

静岡県立大学ジャーナリズム公開講座 受講申込書			
氏名	フリガナ		
	様		
住所	〒		
電話番号		職業	
E-mail / FAX		年齢	歳

お申込先はFAX:054-245-5603またはnishi@u-shizuoka-ken.ac.jp
電話:054-245-5600 前日までにお申込みできない場合、当日に受付で申込書にご記入ください。